

2013年9月期第2四半期決算説明会
質疑応答の要約

2013年5月10日に開催しました2013年9月期第2四半期決算説明会における質疑応答の要約を掲載します。

Q1. 2013年9月期の修正業績予想において売上・利益ともに前期同水準ですが、2014年9月期はどのようなイメージですか。

A1. プロモーション効率の改善が下期の最重要課題となっています。改善が効果的に進めば2014年9月期業績は売上高・利益ともに拡大する可能性があります。改善が効果的に進まない場合は2013年9月期と同水準になるものと考えています。

Q2. 配当の修正をしているが、配当はどのように決められているのでしょうか。

A2. 当社における利益配分の考え方ですが、総還元性向35%を目安として、中長期的な売上高・利益の持続的成長と株主への利益還元の調和という資本政策の基本方針があります。期初に2013年9月期 通期連結営業利益を前期と同水準の17億円と予想していたため、配当についても、安定配当の観点から前期と同水準の40円を予定していました。今回、通期連結営業利益の下方修正を行ったことで修正後の水準が期初予想の3分の1程度となりますが、安定配当の観点から、配当予想を期初に予定していた40円の2分の1である20円に修正したものです。

Q3. eラーニングは退会率が低いコンテンツのようですが、他のコンテンツに比べて退会率はどの程度違うのでしょうか。また、eラーニングでは競合も少なくないと思いますが、他社サービスとの差別化をどう考えていますか。

A3. 退会率が相対的に低いですが、具体的な数値は非開示となっておりますのでご了承ください。

スマートフォン向けのコンテンツにおいて、有料コンテンツが普及しにくい状況であること、ゲームや無料お役立ちコンテンツ以外で伸びにくい状況であることは現在のコンテンツプロバイダーが抱える共通の課題です。そのような中、当社のサービスが差別化できる特徴として、プロモーションを効果的に実行しつつ継続的に会員を伸ばしていく仕組みが既に存在していることが挙げられます。今後も随時、利用頻度の高いコンテンツを中心にプロモーションの強化をしていく予定です。